

交流の絆

第13号



姉妹都市提携日
1979.2.9



マイセン

平成30年度 国際交流協会の動き

5月 第115回 有田国際陶磁展 陶都有田国際交流協会賞

第114回に新設された賞で、今年
は下記の方が受賞されました。
美術工芸品・オブジェ部門
呂金氏 (中国) 作
「幸福のざくろ家族」



陶祖祭参列のため、(社)韓国陶磁文化協会関係者など14名が参加

陶都有田国際交流協会 理事会・総会を開催

8月 町の国際交流員交代

マニユエル・サドフスキーさんからヴィンセント・ホイザさんへ

10月 「タイ料理教室」を開催

武雄市在住でタイ出身のプーブラサート・ベンジャマートさんを講師に、13名の参加で開催。グリーンカレーやタピオカデザートなどを作りました。



韓国伝統芸能「プンムルノリ」を血山まつり会場で披露

有公会の主催で公州市の伝統芸能演劇団12名を招聘。有田血山まつりの会場で披露していただき、観音山(稗古場)での「望郷の宴」の再現も行いました。

12月 World忘年会を開催

赤絵ワールド&ボランティア喫茶Joyとの共同開催で、町内外より70名の方に参加していただきました。参加者は町内在住の外国人で、インドネシア、ミャンマー、中国、ベトナム、アメリカとさまざまでした。



1月 「親子ドイツふれあいタイム」を開催

21名の町民のみなさんに参加していただき、親子でドイツのパンケーキ、クッキー作りを行いました。



3月 有田雛のやきものまつり英語ツアー開催

県内外のALT、CIRなど15名の方(国籍はアメリカ、カナダ、オーストラリア、台湾、日本)にご参加いただき、国際交流員・ヴィンセントさんの案内で九州陶磁文化館、玉峰窯などを訪問しました。



国際交流員が交代されました

旧(有田町12代目)国際交流員

マニユエル・ペーター・サドフスキーさん

有田町民の皆さん、お久しぶりです!

国際交流員としての任用期間を終え、昨年8月に三重県へ引っ越しました。三重では自動車の部品の試作分野で技術的な知識を少しずつ身に着け、海外関連業務に携わっています。自然と磁器に魅了された有田で過ごした時間を大切に思い、また時々遊びに行きたいと思えます。

3年間姉妹都市関係を支えることが出来とても嬉しかったです。今年の姉妹都市40周年に当たり、マイセンとの交流がこれからも深まる事を願います。



新(有田町13代目)国際交流員

ヴィンセント・パウル・ホイザさん

有田町役場に着任し、あっという間に半年以上が経過しました。国際交流員としての仕事にはだいぶ慣れてきて、幅広い分野で多岐に渡る業務が充実しています。通常業務として、有田町と姉妹都市のマイセン市との交流を担当し、翻訳通訳をはじめ、交流の深化に取り組んでいます。また、毎月有田広報に記載するコラムを通じて、町民のみなさまのドイツに対する興味が増すよう工夫しています。それ以外に、ドイツ語と英語教室、保育園訪問、英語ツアー、親子ふれあいタイムなど、国際交流を目的にした様々な業務をしています。



2019年はドイツ・マイセン市と有田町の姉妹都市締結40周年です。

●ドイツ・マイセン市の概要

マイセン市は、ドイツ連邦共和国ザクセン州、エルベ川沿いに位置し、首都ベルリンより南へ約140kmの距離にあります。面積30平方キロメートル、人口約2万8千人で、ヨーロッパ磁器発祥の地としてその名を世界に知られ、高級磁器の代名詞ともなっています。温和な気候を利用して12世紀初頭よりブドウ栽培が盛んで、ワインの産地としても有名なところ。マイセン周辺は大聖堂など有名な建造物も多く、文化財保護地域の一つになっており、画家や写真家などの恰好の対象となるほど美しく、みどり豊かなヨーロッパの小さな古都です。



マイセン周辺は大聖堂など有名な建造物も多く、文化財保護地域の一つになっており、画家や写真家などの恰好の対象となるほど美しく、みどり豊かなヨーロッパの小さな古都です。

●交流のはじまりと姉妹都市

17世紀中期～後期に大量の金襴手様式や柿右衛門様式の有田磁器が、オランダ東インド会社により輸出されていたという歴史的事実を確認するために、1970年に有田の窯業界の7名がドイツを訪問し、ドレスデン博物館の地下倉庫で膨大な数の古伊万里を確認しました。いわゆる、有田の「七人のサムライ」です。



そして、1975年の福岡大博覧会で「古伊万里里帰り展」として、ドレスデン博物館秘蔵の有田磁器を公開しました。これを機に姉妹都市提携を申し入れ、1979年2月9日、当時の有田町の青木類次町長と国立マイ



セン磁器製作所カール・ペーターマン総裁との間で姉妹都市の調印が行なわれました。また、1980年には、里帰りの古伊万里を展示する九州陶磁文化館が開館しました。

●これまでの交流と周年行事

交流は、合併などに伴う2回の再調印を経て、現在に至ります。その間、周年行事ではマイセンのワイン祭りに大勢で参加をしたり、有田陶器市や有田焼創業400年の式典などのときに訪問団を受け入れたりしてきました。また、マイセンで起こった水害の復旧の支援を行い、逆に東日本大震災の際は義援金をいただきました（気仙沼市へ寄附）。

青少年団も毎年、訪問・受入を交互に行っており、これまでに有田町・マイセンの青少年それぞれ200名以上が、お互いの町を訪問しました。

有田町民でこれまで訪問した人数は延べ600名を越え、マイセンからも500名以上の方を受け入れています。

前回（2014年）の35周年の際には、ワイン祭りに参加し、日本の文化の紹介を行いました。



●40周年事業について

新年のレセプション参加と40周年事業の打ち合わせを兼ねて、1月に松尾町長、松尾町議会議長、事務局でマイセンを訪問しました。オラフ・ラシュケ市長、カイ・レオンハート友好協会会長と打ち合わせをすることができ、現段階のそれぞれのアイデアを出し合いました。

今後は、実行委員会を立ち上げ、内容の検討など、準備を進めていきたいと思います。

今年9月下旬～10月上旬にかけて、訪問団を組織してマイセン市への訪問を計画しています。ぜひご参加ください。

また、11月には市長ほかマイセンからの訪問団を受け入れますので、ご協力をよろしくお願いたします。



陶都有田国際交流協会

〒849-4192 佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地
(有田町役場商工観光課内)

Tel 0955-46-2500 Fax 0955-46-2100

E-MAIL syoko@town.arita.lg.jp

ホームページ

陶都有田国際交流協会 検索

陶都有田国際交流協会とは

設立 平成元年6月に設立。国際親善に関心を持つ町内事業所や団体、学識経験者などで構成。

目的 有田町と外国都市との産業、文化、教育等の国際交流事業を促進し、国際的な相互理解による友好親善に寄与することを目的とする。

活動 町民への国際交流の趣旨の普及や、各種親善事業の実施などを通して「国際都市ありた」を目指して活動しています。